



Sun™ Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアの リリースノート

SPARC® Enterprise、Sun Fire™、Sun Blade™、
Sun Ultra™、および Netra™ システム

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-6896-10
2008 年 11 月、Revision A

コメントの送付：<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2008 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が特に含まれていることがあります。これらに限定されません。

本書およびそれに付属する製品は、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

フロント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、Sun の提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムの作業に基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Java、docs.sun.com、Solaris、Sun Management Center、Netra、Sparc Enterprise、Sun Fire、Sun Blade および Sun Ultra は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. またはその子会社の商標もしくは登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、Sun Microsystems, Inc. が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun Microsystems, Inc. は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。Sun Microsystems, Inc. は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK グラフィカルユーザーインタフェースを実装するか、またはその他の方法で Sun Microsystems, Inc. との書面によるライセンス契約を遵守する、Sun Microsystems, Inc. のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights — Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害についての黙示の保証等を含む、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

目次

1. Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアのリリースノート 1
 - このリリースでの新機能 1
 - サポートされるシステムと環境 2
 - 推奨パッチ 4
 - ハイエンドおよびミッドレンジシステムでの Sun Fire USBRDT 5240 Uniboard のサポート 5
 - アドオンソフトウェアの入手 5
 - インストール 6
 - Sun Management Center 4.0 ソフトウェアのインストール 7
 - ▼ Sun Management Center 4.0 ソフトウェアをインストールする 7
 - ▼ 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする 8
 - Sun Management Center 3.6 または 3.6.1 ソフトウェアからのアップデート 9
 - ▼ 前のバージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールする 9
 - 問題と回避方法 9
 - 詳細ウィンドウのアラームタブがエージェントと同期しない 10
 - コンソールに説明情報が誤って表示される 10
 - Sun Management Center が NEM エンティティー を表示しない 10
 - 物理表示にサービスプロセッサが表示されない 10

- コンソールに V440 システムの SAN (MPXIO) が表示されない 11
- Web コンソールにプロセッサテーブルが表示されない 11
- システムテーブルとメディアデバイステーブルに表示される HDD の数が正しくない 11
- LDoms セットアップを使用した Sun Management Center で、すべてのディスクが「設定なし」として表示される 12
- LDoms システムでは、Sun Management Center で spare/no-intr 状態のプロセッサが誤って更新される 12
- 環境センサーの障害がしきい値で正しく報告されない 12
- ファン回転速度センサーがさまざまなファン速度で正しい障害を報告しない 13
- Config Reader テーブルおよび物理表示に REM、FEM が表示されない 13
- プロセッサテーブルに空き CPU リソースに対する青いアラームが生成される 13
- プロセッサテーブルが第一ドメインの設定とともに変化する 14
- システムプロセッサが dpdump に正しくない最小速度値を渡す 14
- NIC をホットプラグ接続してもネットワークインタフェーステーブルが更新されない 14

Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアのリリース ノート

本書は、SPARC® Enterprise、Sun Fire™、Sun Blade™、Sun Ultra™、および Netra™ システム用の Sun™ Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェア (*Common Config Reader* または *ELP Config Reader* と呼びます) のリリースノートです。次の節で構成されています。

- 1 ページの「このリリースでの新機能」
- 2 ページの「サポートされるシステムと環境」
- 4 ページの「推奨パッチ」
- 5 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
- 6 ページの「インストール」
- 9 ページの「問題と回避方法」

このリリースでの新機能

Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアを使用すると、Sun SPARC Enterprise T5440 サーバー、SunBlade T6340 Blade サーバー、および Fire USBRDT 5240 Uniboard システムのサポートが追加されます。

x86 コンソールから SPARC エージェントプラットフォームを監視できるようにするため、x86 コンソールのサーバー/コンソールパッケージが提供されています。x86 コンソールのサポートは、コア Sun Management Center 4.0 以降にのみ含まれています。

サポートされるシステムと環境

表 1 に、Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアに必要なソフトウェアのバージョンを一覧表示します。

表 1 ソフトウェアバージョンの最小要件

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
サーバーマシン	Solaris™ オペレーティングシステム*	8、9、10 x86 サポートを利用するには、Solaris 10 Update 3 以降のサーバー、および Solaris 9 または Solaris 10 Update 3 以降のコンソールが必要です。
	Sun Management Center サーバーベースソフトウェア	x86 サポートを利用しない場合は、システムに 3.6、3.6.1 または 4.0 リリースが必要です。 x86 サポートを利用する場合は 4.0 コアリリースが必要です。
	Sun Management Center ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品 (Common Config Reader) ソフトウェア	4.0 Version 5 以降
監視対象プラットフォーム	Solaris オペレーティングシステムのカーネルアップデート ^{1 2}	8 – カーネルアップデート 122702-02 以降 9 – カーネルアップデート 118558-26 以降 10 – カーネルアップデート 119850-18 以降
	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.6、3.6.1 または 4.0 コアリリース
	Sun Management Center ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品 (Common Config Reader) ソフトウェア	4.0 Version 5 以降
ワークステーションまたは共通のネットワーク (コンソールレイヤー)	SPARC 版 Solaris オペレーティングシステム ¹	8、9、10
	x86 版 Solaris オペレーティングシステム ¹	Solaris 10 Update 3 以降でサポートされるサーバー コンソール Solaris 9 および Solaris 10 Update 3 以降
	Sun Management Center コンソールベースソフトウェア	3.6、3.6.1 または 4.0 コアリリース

* Solaris オペレーティングシステムは、少なくとも「エンドユーザーシステムサポート」のディストリビューションである必要があります。

¹ Solaris のオペレーティング環境は、サポート対象のプラットフォームによって異なります。使用しているプラットフォームでサポートされている Solaris のバージョンについての詳細は、各プラットフォームのドキュメントを参照してください。

注 - Sun Management Center サーバーおよびエージェントマシンでは、同じバージョンのアドオンソフトウェアを使用してください。

Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアは、次のプラットフォームをサポートしています。

- Netra 210 サーバー
- Netra 240 サーバー
- Netra 440 サーバー
- Netra T2000 サーバー
- Netra T5220 サーバー
- Netra T5440 サーバー
- Sun Blade 1500 ワークステーション
- Sun Blade 2500 ワークステーション
- Sun Blade T6300 サーバー
- Sun Blade T6320 サーバー
- Sun Blade T6340 サーバー
- Sun Fire V125 サーバー¹
- Sun Fire V210 サーバー¹
- Sun Fire V215 サーバー
- Sun Fire V240 サーバー
- Sun Fire V245 サーバー
- Sun Fire V250 サーバー
- Sun Fire V440 サーバー
- Sun Fire V445 サーバー
- Sun Ultra 25 ワークステーション
- Sun Ultra 45 ワークステーション
- Sun Fire T1000 サーバー²
- Sun Fire T2000 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T1000 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T2000 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5120 サーバー

1. これらのシステム上で Sun Management Center 4.0 Version 5 を使用するには、ALOM 1.6.7 以降が必要です。

2. Sun Fire T1000 サーバーのシングルおよびデュアルドライブバージョンがサポートされています。

- Sun SPARC Enterprise T5140 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5220 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5240 サーバー
- Sun SPARC Enterprise T5440 サーバー
- Sun Fire USBRDT 5240 Uniboard

推奨パッチ

Sun Management Center 4.0 のコアアプリケーションおよびこのアドオンソフトウェア用に利用できる、Solaris ソフトウェアパッチおよび Sun Management Center パッチが提供されていることがあります。Sun Management Center 4.0 ソフトウェアとこのアドオンをインストールする前に、使用しているオペレーティングシステムに必要なすべてのパッチをインストールしてください。

Sun とサービス契約を結んでいる場合は、次の場所からパッチをダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com>

Sun Management Center 4.0 ソフトウェアを最新にアップデートするために必要なパッチについての詳細は、関連する『Sun Management Center ソフトウェアリリースノート』を参照してください。

これらのリリースノートには、『Sun Management Center 4.0 インストールと構成ガイド』(820-3155) の補足情報が含まれています。関連するすべてのドキュメントについては、このドキュメントの「はじめに」も参照してください。

Sun Management Center 4.0 のドキュメントおよびアドオンソフトウェアのリリースノートは、次の場所で入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1734.1>

ハイエンドおよびミッドレンジシステムでの Sun Fire USBRDT 5240 Uniboard のサポート

Sun Fire E25K/E20K および 15K/12K (ハイエンド) システム上の USBRDT 5240 ボードを監視するには、Sun Management Center 3.5 Version 6 アドオンおよび SMS 1.6 と、それぞれに対する適切なパッチが必要です。Sun Fire E6900/E4900 および 6800/4800 (ミッドレンジ) システム上の USBRDT 5240 ボードを監視するには、Sun Management Center 3.5 Version 6 アドオンおよび ScApp 5.21.0 と、それぞれに対する適切なパッチが必要です。この条件を満たしていないと、USBRDT 5240 ボードはこれらのシステムで不明なボードとして扱われます。

USBRDT 5240 ボードをサポートするための SMS および ScApp のパッチの詳細と入手方法については、SunSolve を参照してください。

Sun Management Center のパッチの詳細と入手方法については、SunSolve で次の ID を参照してください。

- 6752172 – Sun Fire ハイエンドプラットフォームの Config Reader での USBRDT-5240 のサポート
- 6752175 – Sun Fire ミッドレンジプラットフォームの Config Reader での USBRDT-5240 のサポート

アドオンソフトウェアの入手

Sun Management Center アドオンソフトウェアパッケージは、次のソフトウェアダウンロードサイトで zip ファイルで提供されています。

<http://www.sun.com/software/download/>

<http://www.sun.com/downloads/>

「New Downloads」タブに Sun Management Center のリストが表示されない場合は、「Downloads A-Z」タブ³のインデックスを使用するか、または「View by Category」タブで「System Administration」の下の「System Management」セクションを探してください。

または、<http://www.sun.com/software/> の「Sun N1 Software」セクションの「Sun Management Center」リンクをクリックし、「Get Sun Management Center 4.0」を選択すると利用できます。

3. Sun Management Center 製品は、「Sun Management」の S の場所に掲載されている可能性があります。

インストール

コア Sun Management Center 4.0 に Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールして設定する場合は、『Sun Management Center 4.0 インストールと構成ガイド』を参照してください。



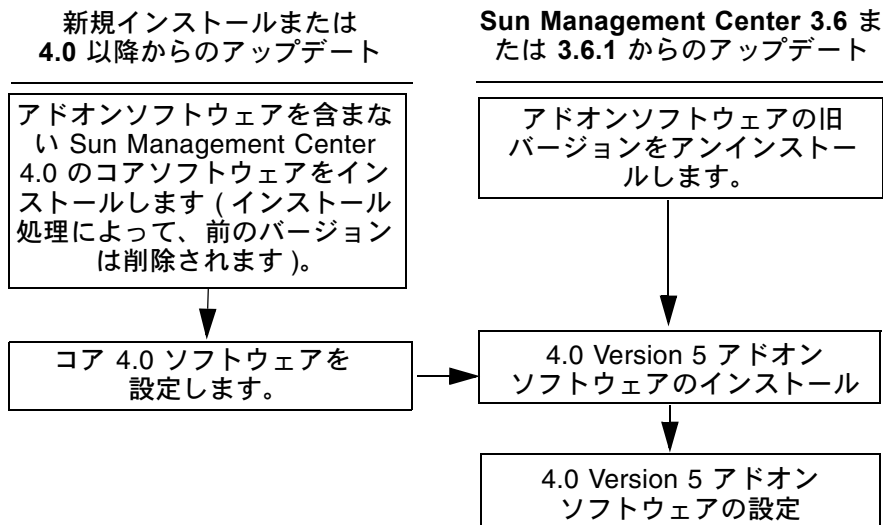
注意 – Sun Management Center ソフトウェアで提供されているインストールスクリプトおよびセットアップスクリプトを使用してください。手動でパッケージを追加したり、構成ファイルを変更したりしないでください。

コア Sun Management Center 3.6 や 3.6.1、または Sun Management Center 4.0 以降に対して、Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアのインストールのみ行います。

引き続きコア Sun Management Center 3.6 または 3.6.1 を使用する場合は、Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする前に、旧バージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールしてください。

この Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアは、個別の zip ファイルを使用してインストールするため、インストール手順を変える必要があります。図 1 にインストール手順を示します。

図 1 インストール処理の流れ



Sun Management Center 4.0 ソフトウェアのインストール

まだコア Sun Management Center 3.6、3.6.1、または 4.0 ソフトウェアをインストールしていない場合は、この Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする前に、インストールしておいてください。

注 – Sun Management Center 4.0 ソフトウェアのインストール処理には、Sun Management Center ソフトウェアの旧リリースのアンインストール処理が含まれています。旧リリースからのアップグレードの詳細については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

▼ Sun Management Center 4.0 ソフトウェアをインストールする

1. インストールの準備については、『Sun Management Center 4.0 Supplement for Sun Fire, Sun Blade, and Netra Systems』を参照してください。
2. コアソフトウェアのインストール手順については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

Sun Management Center ソフトウェアの旧リリースをアップグレードする場合は、現在インストールされているリリースからのソフトウェアの更新に関する情報を読んでください。

注 – この手順では、Common Config Reader をインストールしないでください。

このインストールの実行途中で、アドオン製品の一覧から選択できるダイアログが表示されます。Common Config Reader アドオン製品はインストールしないでください。

3. [8 ページの「4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする」](#)で説明されている手順を実行します。

▼ 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする

1. ソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアの入手については、本書の [5 ページ](#) の「アドオンソフトウェアの入手」を参照してください。

2. ダウンロードしたファイルの `downloadpath` という名前のパスにあるディレクトリに zip ファイルを展開します。

3. ホストマシンにスーパーユーザーでログインします。

4. コア Sun Management Center 4.0 ソフトウェアがインストールされているパスのディレクトリへ移動します。

ディレクトリは、次のようになります。

```
installed_directory/SUNWsymon/sbin
```

5. `es-guiinst` または `es-inst` のいずれかのインストールスクリプトを実行します。

次のパスを入力するよう求められます。

```
downloadpath/disk1/image/
```

`downloadpath` には、[手順 2](#) のパスを使用します。入力するとインストール可能なアドオン製品の一覧が表示されます。

6. ELP Config-Reader Monitoring アドオン製品を選択します。

7. インストールスクリプトの残りの手順をすべて実行します。

8. 手順に従って、ソフトウェアを設定します。

インストールウィザードによってソフトウェアを設定するよう求められます。詳細については、『Sun Management Center 4.0 インストールと構成ガイド』を参照してください。

Sun Management Center 3.6 または 3.6.1 ソフトウェアからのアップデート

使用しているサーバーおよびコンソールシステムに、すでにコア Sun Management Center 3.6 以降のソフトウェアがインストールされている場合は、次の手順に従います。

- [9ページの「前のバージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールする」](#) – コア Sun Management Center 3.6 ソフトウェアに含まれるアドオンソフトウェアのバージョンが構成内のいずれかのシステムにインストールされている場合は、この手順に従ってください。これ以外の場合は、この手順をスキップしてもかまいません。
- [8ページの「4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールする」](#) – この手順に従って、Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアをインストールします。

▼ 前のバージョンのアドオンソフトウェアをアンインストールする

- 『Sun Management Center 4.0 インストールと構成ガイド』を参照してください。

このガイドの付録に、`es-guiuninst` ウィザードまたは `es-uninst` コマンド行スクリプトを使用してアドオン製品をアンインストールする手順の説明があります。ELP Config-Reader Monitor アドオンソフトウェアのみをアンインストールします。

問題と回避方法

この節では、Sun Management Center 4.0 Version 5 アドオンソフトウェアの今回のリリースで判明した問題、またはその運用に影響する可能性があるソフトウェアの問題と回避方法を説明します。

詳細ウィンドウのアラームタブがエージェントと同期しない

この問題は、ある項目 (プロセッサステータス、ディスクエラーカウント、特定のセンサー値など) に対してアラームがすでに存在し、同じ項目に対して新しいアラームが発生した場合に起こります。ステータス値が変化しないかぎり、アラームタブで新しいアラームが更新されません。

[6548517]

コンソールに説明情報が誤って表示される

「説明」情報を入力しないでオブジェクトを新たに作成した場合、Sun Management Center コンソールの「情報」タブには、空のフィールドではなく、「説明」フィールドを入力して作成された既存のオブジェクトの「説明」フィールドの情報が表示されます。

回避方法: 新規オブジェクトを作成するときには、必ず「説明」の情報を入力してください。

[6585734]

Sun Management Center が NEM エンティティーを表示しない

Sun Blade サーバーで、ネットワーク拡張モジュール (Network Expansion module, NEM) が、Config Reader の拡張カードテーブルの箇所に表示されません。

回避方法: なし。

[6628809]

物理表示にサービスプロセッサが表示されない

マウスを画像の上に移動すると、Sun Blade T6320 サーバーモジュールの物理表示 (前面) にはサービスプロセッサ (右側のウィンドウにはそのプロパティ) が強調表示されるはずですが、現状では、物理表示にその情報が表示されません。

回避方法: サービスプロセッサプロパティは、他のコンポーネントテーブルに正しく表示されています。

[6628816]

コンソールに V440 システムの SAN (MPXIO) が表示されない

Sun Management Center では、V440 マシンの SAN ディスク情報が表示されません。

回避方法: なし。

[6655853]

Web コンソールにプロセッサテーブルが表示されない

エージェントシステムを表示する Web コンソール (ブラウザベース https://<server_system>:6789) で、「Hardware (ハードウェア)」->「Config Reader」->「Device Information (デバイス情報)」ノードを展開してノード内のテーブル (プロセッサ、メディアデバイス、ネットワークインタフェース、インジケータ、およびその他のデバイス) を表示することができない場合があります。デバイス情報ノードの横に三角形のアイコンがない場合は、展開できません。

回避方法: Web コンソールの代わりに Java GUI コンソールを使用してください。

[6662409]

システムテーブルとメディアデバイステーブルに表示される HDD の数が正しくない

2 基の HDD が搭載された Netra T2000 で、システムテーブルとメディアデバイステーブルに 4 基の HDD が誤って表示されます。存在しない 2 基の HDD のステータスは未設定として表示されます。

回避方法: 2 基の HDD が搭載された Netra T2000 では、HDD2 と HDD3 を存在しないものとして扱ってください。

[6665401]

LDoms セットアップを使用した Sun Management Center で、すべてのディスクが「設定なし」として表示される

LDoms セットアップを使用した Sun Management Center のメディアデバイステーブルでは、すべてのディスクに対し「使用可能」の状態として「設定なし」が表示されます。物理バスおよびディスクの種類もテーブルには表示されません。LDoms セットアップ以外を使用している場合は、正しい状態 (Running (稼動中)/Full power (フルパワー)) が表示されます。この問題は、Sun SPARC Enterprise T2000 システムで発生します。

回避方法: LDoms 環境でディスクのステータスを確認するには、`cfgadm -al` コマンドを使用してください。

[6666611]

LDoms システムでは、Sun Management Center で spare/no-intr 状態のプロセッサが誤って更新される

CPU を「割り込み不可」または「予備」状態にすると (`psradm -n` および `psradm -s` を使用)、LDoms コントローラソフトウェアから返されるステータスが正しくありません。CPU が「割り込み不可」状態の場合、返されるステータスはオンラインとなり、CPU が「予備」状態の場合、返されるステータスはオフラインとなります。

回避方法: LDoms システムのプロセッサの正確なステータスを知るには、`psrinfo` コマンドを使用します。

[6730867]

環境センサーの障害がしきい値で正しく報告されない

温度 (または電圧) センサーの値がしきい値の場合、LowWarn (nc - non-critical) 値に対する障害が報告されず、LowSoft (cr - critical) 値に対する「Lower non-critical threshold exceeded」という警告が報告されます。

[6738914]

ファン回転速度センサーがさまざまなファン速度で正しい障害を報告しない

ファン回転速度センサーの値が警告レベルまたはクリティカルレベルを下回っても Sun Management Center のアラームが生成されません。速度が回復不能なしきい値を下回った場合にだけアラームが生成されます。

回避方法: この問題は ILOM の次のリリースで修正されます。

[6739954, 6740517]

Config Reader テーブルおよび物理表示に REM、FEM が表示されない

Sun Blade T6320 では、拡張カードテーブルに Raid 拡張モジュール (Raid Expansion Module、REM) またはファブリック拡張モジュール (Fabric Expansion Module、FEM) が表示されません。ブレードシステムでは、拡張モジュール (Expansion Modules、EM) だけが表示されます。ほかのコンポーネントテーブルに REM が表示されます。また、マウスを画像の上に移動すると、Sun Blade T6320 サーバーモジュールの物理表示 (前面) には REM と FEM (右側のウィンドウにはそのプロパティーを表示) が強調表示されません。現状では、テーブルまたは物理表示にその情報が表示されません。

回避方法: なし。

[6746822]

プロセッサテーブルに空き CPU リソースに対する青いアラームが生成される

Sun Management Center のプロセッサテーブルで、空き CPU リソースがあるにもかかわらず青いアラームが生成されます。プロセッサテーブルは、第一ドメインまたはどの LDom ドメインにも割り当てられていない空き CPU がある場合でも、ステータス「UNKNOWN」でアラームを生成します。実際にこれらの CPU は空いており、任意のドメインに追加できます。

回避方法: なし。

[6751176]

プロセッサテーブルが第一ドメインの設定とともに変化する

LDoms を使用したシステムでは、Sun Management Center は第一ドメインの設定中にプロセッサテーブルを動的に更新します。第一ドメインに割り当てられていないプロセッサは、設定モード自体で「Unknown」状態になります。Sun Management Center は動的に変更を行い、LDoms は次の電源投入時にしか変更しないため、2つの状態が同期されなくなります。

回避方法: 設定モードでのプロセッサの正しい状態を確認するには、psrinfo を使用してください。

[6751418]

システムプロセッサが dpdump に正しくない最小速度値を渡す

システムプロセッサは、最小速度に対して、showenvironment ファン出力値「Low」ではなく「Warn」を送ります。その結果、ファン速度が「Warn」を下回ると、Sun Management Center は警告アラームではなくクリティカルアラームを表示します。これは Sun Fire T1000 システムで発生します。

回避方法: 正しいしきい値を確認するには showenvironment を使用してください。

[6751419]

NIC をホットプラグ接続してもネットワークインタフェーステーブルが更新されない

ネットワークインタフェースカード (Network Interface Card、NIC) をブレードシステムにホットプラグで接続または取り外しても、ネットワークインタフェーステーブルが更新されません。

回避方法: 正しいネットワークインタフェーステーブルを表示するためには、NIC をホットプラグ接続したあとで Sun Management Center エージェントを再起動してください。

[6756972]